



週報 第3057回

会長 中 透 副会長 上田 秀朗
幹事 杉本 憲一 SAA 瀧谷 達

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501

メールアドレス info@izumiotsu-rc.org

ホームページ http://izumiotsu-rc.org



泉大津ロータリークラブ

Izumiotsu Rotary Club



今週の例会(2019年12月20日)

■ プログラム

忘年クリスマス例会

■ 次週のプログラム

・12月27日：定款の規定により例会休会

■ 今後の予定

- ・1月3日：定款の規定により例会休会
- ・1月10日：新年会長挨拶
- ・1月17日：クラブアッセンブリー(各奉仕担当理事)

■ 祝 誕生日

原 眞理子(25日)

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

聖夜

きよしこの夜 星は光り
すくいのみ子は み母の胸に
眠りたもう 夢やすく

■ 先週の例会

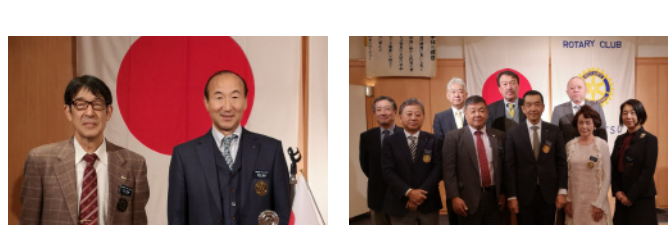
会長の時間

会長の時間を総会に変更
八木秀富選考指名委員長より、選考結果の報告があり、2021～2022年度の会長に植村勢彦会員を指名し満場一致で承認。その後、白谷喜世彦会長エレクトより、2020～2021年度の理事役員の発表。副会長：原眞理子会員 幹事：小門茂樹会員 会計：根尾玲子会員 理事：原正人会員、杉本憲一会員、寺田敏也会員、森口和信会員 SAA：山本博章会員 同じく満場一致で承認されました。



中 透 会長

規定審議会で年次総会の時間において、前年度の会計報告と本年度の中間報告の発表が求められております。
寺田敏也直前幹事と原正人本年度会計より、それぞれ発表がありました。



IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3057回

■ 幹事報告

杉本 憲一 幹事

○本日メールボックスに、会員候補推薦者氏名(吉本佳子さん)を入れさせて頂いております。異議のある場合は理由を書いて幹事までご提出お願い致します

■ 委員会報告

○メールボックスに令和2年4月19日(日)家族例会のご案内を入れさせて頂いております。大阪梅田で「リトルマーメイド」の観劇となっております。例会参加人数把握の関係上、出席の有無をご連絡お願い致します。本日例会終了後、親睦活動委員会をみやびにて開催します。(今井 克範 親睦活動委員長)

○本日例会終了後、社会奉仕委員会と青少年委員会の合同委員会を3階ティーサロンで行います(川端 徹 社会奉仕部門理事)

○本日メールボックスに理事役員宛に、定款・細則(案)および地区クラブ情報規定委員長会議報告を入れておりますので、理事役員の皆様、年末年始の間に定款・細則(案)と報告書も併せて読んで頂きますようよろしくお願い致します(上田 秀朗 副会長)

■ メークアップ

榎本(12/11 大阪帝塚山RC)

■ ニコニコ箱

- ・年次総会よろしく申し上げます。すながわ高等支援学校 田中様、卓話よろしく申し上げます。早退のおわび(中)
- ・すながわ高等支援学校さま、本日よろしく申し上げます。(杉本)
- ・田中様、本日卓話よろしく申し上げます(瀧谷)
- ・すながわ高等支援学校の先生方、本日は卓話よろしく申し上げます。(寺田)
- ・IRCゴルフコンペで優勝しました。親睦活動委員会の皆さん有り難うございました。楽しかったです(植村)
- ・IRCゴルフコンペおつかれ様でした。渡辺さん、南出さん、松村さんありがとうございました(泉谷)
- ・ゴルフで賞品もらいました(櫻井)
- ・早退のおわび(松内)
- ・早退のお詫び(丹農)
- ・早退のお詫び(藤原)
- ・早退のお詫び(八木(秀))
- ・早退のおわび(藤野)

ニコニコ箱合計	26,000円
累計	358,000円

■ 祝 誕生日

中 透(16日)
八木 秀富(19日)



■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数41名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
12/13	35名	6名	—	85.37%
11/29	36名	5名	1名	90.24%

先週のプログラム 「すながわ高等支援学校について」



卓話講師 大阪府立すながわ高等支援学校 首席 田中 文隆 様

本校の概要

- 学習指導要領の改訂 → 施行の過渡期である。ポイントは、「学校教育を学校内に閉じずに、めざすところを社会と共有・連携しながら実現する」で、社会というところで、企業の力が必要とされている。

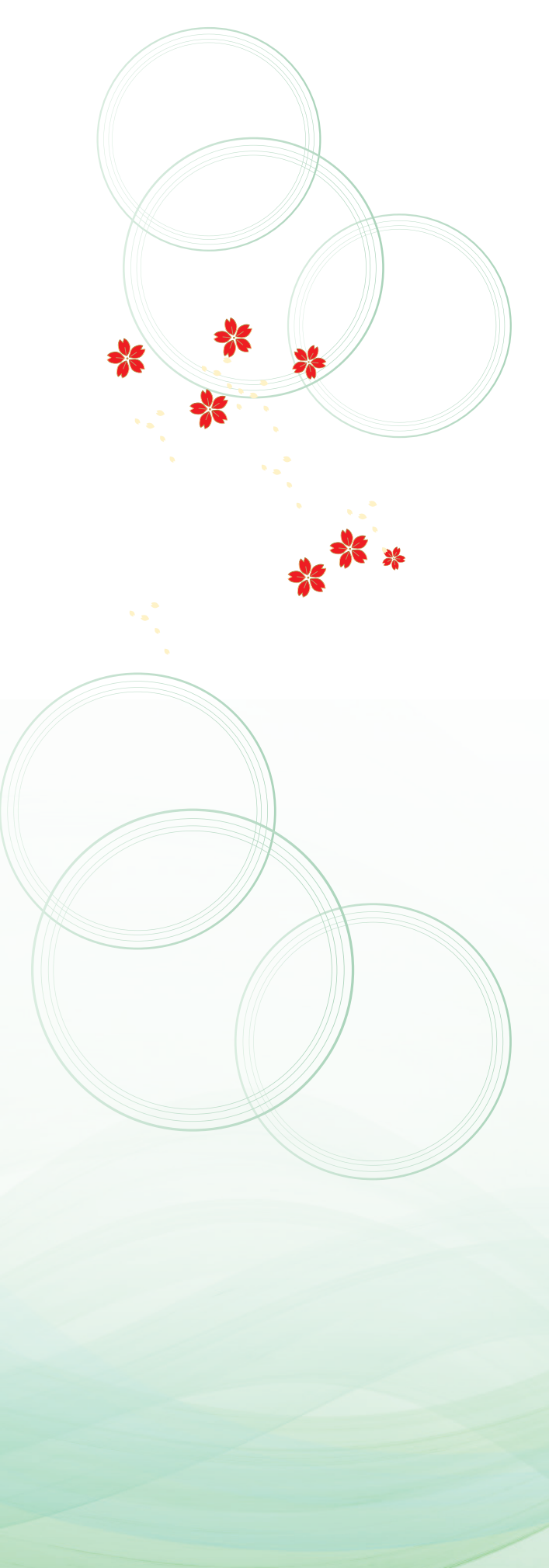
- 本校は、大阪府下に5校ある高等支援学校のひとつで、中学校段階の支援の必要な生徒にとって、複数ある選択肢のなかのひとつである。

本校のめざすもの

- 卒業後は、就労を通じた社会的自立をめざしている。
- 就労するだけでなく、その職場で長く働き続ける力の育成に力を入れている。そのために、日々の教科学習や職業教育、インターンシップ(職場体験実習)だけでなく、振り返りや自己の課題を意識したプレゼンテーションをおこなっている。
- 職場体験実習を通じて、企業と生徒をマッチングする精度を上げていく。
- 障がい者雇用は、関係機関と連携して、チームで本人を支援していく。そのために、在校中から地域の関係機関とつながる機会を設けている。

本校の取り組み

- 短焦点プロジェクターを全教室に配備し、わかる授業を展開する基礎的環境整備がある。
- 先輩から後輩へ(卒業生から在校生へ)の学びの機会を多く設定している。
- ショッピングモールでの販売実習やアピリンピック大会出場など、地域から学ぶ機会もある。
- 学校も地域の関係機関と連携して、卒業後のアフターケアを実施しており、定着支援が充実している。
- 今後の課題は、働き続けていくなかで、継続した学びの機会をつくっていくことである。



IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3057回

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか